

<p>◆ 主 題 名 (生徒に提示するもの)</p>	<h2>「私たち」が作る校風</h2>
--------------------------------	---------------------

内容項目	見出し	教材名
C - 15	より良い学校生活、集団生活の充実	ハイタッチがくれたもの
価値項目		
1・2・3・4 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくる。		
本時のねらい		
自分の学校の良さと伝統を知り、それらに愛着を持つことの大切さに気づかせ、自らの手でより良い校風を継ぎながら発展させていこうという意欲を育てる。		

主題発問に向かうための導入・場面発問	
導 入	発問 みんなが思う「良い学校」とはどんなものか。
	補助発問 上峰中学校で自慢できることは何だろう。
場 面 ①	発問 ハイタッチはどんな時にするのか。
	補助発問
場 面 ②	発問 生徒会のみんなに呼びかけても誰も賛同してくれなかったとき、裕司はどんな気持ちになったらうか。
	補助発問 自分が裕司の立場だったら…
場 面 ③	発問 裕司が、再度「ハイタッチの日」が提案したのはどんな思いがあったからだろうか。
	補助発問 「何のためにハイタッチをするのか。」「『何とも言えない気持ち』とはどんな気持ちなのか」



<p>◆ 主 題 発 問</p>	上峰中学校の良さや伝統を後輩たちへ伝えていくために大切なことはなんだろう。
------------------	---------------------------------------

<p>◆ 学 び 合 い 活 動</p>	場面発問①	場面発問②	場面発問③	主題発問
	個 ⇨ (ペア ・ グループ ・ フリー) ⇨ 個			

<p>留 意 点 等</p>	今後、三年生が部活動を引退し部活を背負っていくのはこの学年である。また、二学期後半には生徒会を担う学年にもなる。学校の中心としての活動が増えるが、現状を見るとこの先も不安である。学校のイメージを作るのは、建物や教師でもなく「生徒たち」であることを自覚させたい。 また、今までの上峰中の良さを引継ぎ発展させていく役目も背負っているということを伝え、どのような学校にしたいか。後輩たちに伝えるためにはどうすればよいのか。何が大切なのかを考えさせたい。
----------------	--

<p>授 業 後 の 振 り 返 り</p>	場面発問③が難しかったようだ。さらに場面発問③から主題発問へのつなげ方が難しかった。 学校のイメージは生徒のイメージであることを自覚させることはできたのではないかと思う。
------------------------	--